

# 大場 裕之ゼミナール【経営-2クラス】

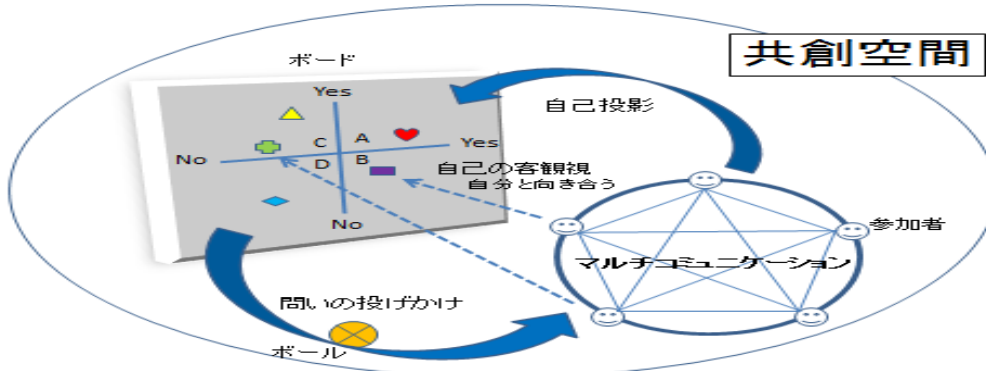
【題目】「共創空間」による論文づくりを楽しむ

【到達目標】「共創空間」にて、自らが関心を持つテーマ(経営、社会、心理問題など)を発見し、分析し、作品(論文)に仕上げる。 「共創空間」とは、異なる価値観を持つ者によって、新たな価値(研究テーマも含む)を生み出す空間です。

【講義内容】

ゼミの内容:ゼミ生は、3年次において、関心あるテーマを発見する(自由テーマ研究)。4年次には、自由テーマ研究の成果を生かし、卒論テーマ研究へと発展・深化させる「共創知」の体験ができる。今年度の自由テーマ研究(ジャンル)としては、サッカーと経営、ファッション、社風、優先席問題とモラル、ボランティア、モンゴル児童養護施設の経営、マニュアル化できないサービス、おカネとフェティズム、老舗(しにせ)企業の経営戦略など。

ゼミの運営方法等:研究テーマ(問題)や原因、解決策をゼミ生全員で探すために、「共創空間」というゼミで独自開発した手法を活用する。意欲的に研究を進めるために、企業訪問や谷川などでの合宿、国際フェスタCHIBAや学祭にも参加している。また、麗澤オープンカレッジで受講する社会人とのコラボも行っている。毎年、研究成果を世に問うために、一般社会人、ゼミOBも参加する「ゼミ公開授業」も実施している。



共創空間開発プロジェクトチーム(Co-Creative Spaceship project team), 麗澤大学(Ritsaku University, Japan) 2012

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション:ゼミの狙い、ゼミの進め方。評価基準およびその方法。
- 第2回 自由研究テーマ発見のための企画コンペ1(共創マトリックスも実施)
- 第3回 自由研究テーマ発見のための企画コンペ2(共創マトリックスも実施)
- 第4回 選定されたテーマ(その1)について共創マトリックスによって問題や原因の所在を明らかにする。
- 第5回 選定されたテーマ(その2)について共創マトリックスによって問題や原因の所在を明らかにする。
- 第6回 選定されたテーマ(その3)について共創マトリックスによって問題や原因の所在を明らかにする。
- 第7回 問題設定(その1):これまで議論されたテーマから「問題」を設定し、その原因について議論する。
- 第8回 問題設定(その2):これまで議論されたテーマから「問題」を設定し、その原因について議論する。
- 第9回 問題設定(その3):これまで議論されたテーマから「問題」を設定し、その原因について議論する。
- 第10回 問題設定(その4):これまで議論されたテーマから「問題」を設定し、その原因について議論する。
- 第11回 仮説構築(その1):議論された「問題」の中から、仮説を立て仮説検定を実施する。
- 第12回 仮説構築(その2):議論された「問題」の中から、仮説を立て仮説検定を実施する。
- 第13回 作品(論文)の書き方
- 第14回 自由研究テーマに関するプレゼン。
- 第15回 前期の総括:自由研究テーマの到達点と来期に向けた課題

【教科書】大場裕之・山岡平三(2015)『“共創空間”を開発することの学問的意義—「共創空間開発学」の構築を目指して』ワーキング・ペーパー、麗澤大学経済社会総合研究センター。大場裕之+「共創空間」開発プロジェクトチーム(2015)『共創空間開発学のすすめ—知のイノベーションの新技术』麗澤大学出版会。大場裕之+大場ゼミナール[2007]『学問力のすすめ』麗澤大学出版会。

【参考文献】R.Inglehart, M. Basanez & A. Moreno (1998) *Human Values and Beliefs*, The University of Michigan Press.

自由研究に関連する他の文献や英文資料等は、演習時に紹介する。

【評価方法】ゼミでの報告や活動状況、合宿等への参加、論文(3年次研究企画書および問題発見レポート、4年次はそれらをもとにした卒業論文)と自己評価とをふまえ、総合的に評価する。

【履修の条件】チャレンジ精神の旺盛な諸君。留学(日本への留学も含む)経験ある学生も歓迎。

【担当者からの一言】学問力を身につけ、共に学び「共に創る」ことの喜びを味わいましょう!

【担当教員の紹介】氏名:大場 裕之(おおば ひろゆき)

プロフィール:早稲田大学(社会科学部)卒業。ジャワハラール・ネルー国立大学院大学博士課程修了。Ph.D取得(経済学)。専門は、応用経済学、産業発展論、インド経済論、日本的経営論、モチベーション論、価値実現論、ライフスタイル論、イノベーション論、「共創空間」開発論など。経済学の枠を超え、人間の意識や態度・行動に深くかかわる自由意思、価値判断問題を、主たる研究分野としている。

担当科目等:国際比較方法論、インド経済論、Japanese style of management(日本的経営論)、ライフスタイル論、国際教養、経営学基礎演習 Cultural Studies など。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	◎
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己を受け止める力	◎
自己反省する力	◎
自信を生み出す力	○